

あなたの	あな	カネミ油症事件のこと	「母と子の絆～カネミ油症の真実」をご覧になった感想はいかがでしょうか？	「母と子の絆～カネミ油症の真実」制作委員会に聞きたいこと、質問・意見がございましたら、お書きください。	映画をご覧になった感想として、記載いただいた内容をホームページ等で紹介させていただけますと存じます。紹介させていただくことに同意いただけますか？尚、紹介させていただく際は個人の特定ができないよう匿名で記載させていただきま
女性	20	知らなかった	国が認めて保証してくれないことが一番の問題であると感じた。	特になし	同意する
女性	20	知らなかった	普通何気なく食べていた油に毒が入っており、それが自分の子供にも大きな影響を与えてしまっているという事実は母親によって非常に辛いことである。防ぎようもないでの無念でしかない。		同意する
女性	24	知らなかった	こんなにも重症な病気なのに、国からのサポートが手薄すぎるを感じた。また、自分にも起りうると考えたら、とても怖い感じとともに、どうやったら被害者になることを防ぐのが分からず考えてみたいと感じた。		同意する
男性	20	知らなかった	なぜ中毒が起二つの際のマニユアルから逸脱した行為を止めたのか、強い疑問が残った。	特にありません。	同意する
女性	20	知らなかった	辛い食いをしていくのに、それを自ら認めてもらえないといき苦しむを感じた。		同意する
男性	21	知らなかった	市販の油に毒性物質が含まれているということで、とても恐怖を感じた。		同意する
男性	20	知らなかった	自分の子供に知らぬままカネミ油を飲んでしまった親の気持ちを考えることで、もいたままれない、自分自身の生活の場でも同様なことが起りうるが、それを公害として認められなかつた場合にそのやりきれない気持ちをどのようにすればいいのだろうか。		同意する
男性	19	知らなかった	悲しい現象があると感じました。やりきれない思いを感じました。		同意する
男性	21	知らなかった	知らない間に口にしていたものに、体に悪影響を及ぼし、体調が悪くなってしまうことなどでも悟を感じた。また、それを子供であっても、被害者が出てまた時の心の気持ちなどとても辛いものがあると感じた。		同意する
男性	21	知らなかった	過失で大きな被害を生んだ後のケガを愈して上位会社の名前を覚えて今も養老を続けていたというのではなくては思ひ難だと思った。許されるべきではないはず。食品衛生法の適用外の判断は誰がしているのだろうかと思つた。		同意する
男性	20	知っていた	カネミ油症が親から子供にまで影響を及ぼす今の今まで続いていることがとても恐ろしいとと思った。		同意する
女性	20	知っていた	食品安全法が適用されず、今も苦しんでいる人もいるということに胸が痛くなりました。当事者の思いを、苦しむを、最も多く対策することもできないものがもどかしかった。		同意する
女性	18	知らなかった	今回の映画を見た自分自身だけでなく自分が産んだ子供と同じ症状が起きる辛さというものを少しだけ感じたよう気がします。		同意する
女性	19	知らなかった	色々と政府の対応に疑が残っている話だった。初めてカネミ油症という言葉を聞いたが、腹痛や頭痛、倦怠感など数値に見れていいく結果が出ていろいろの誰が悪い、苦しむところなのではないかと思った。		同意する
男性	20	知らなかった	毎日死んでいたものが、ある日突然死んでしまうのが判明したら、大きなショックを受ける感じでした。被害者の方が何も悪くなく、対策をするともできないのがもどかしかった。		同意する
男性	20	知っていた	このような公害に関しては、自分は縁遠い存在だと感じていたが、かなり身近にある問題なのだを感じた。		同意する
男性	18	知らなかった	国の公害が行き届いていないことがわかった。細部にまで国としての支援を終わなくてはならないと改めて感じた。何も知らずに食べてしまったことは私は諒恕するが、できる限り寄り添った支援が必要だと感じた。		同意する
女性	19	知っていた	通常や手足などに見えるような症状が出来てしまうのはとても辛いことだと思った。定期的に検診を受けていたり実際に医師が会うことで公害が発生してきたことを知らなかった。油という普通の食卓に出でてくるものが健康被害の原因となっていよいよ驚いた。		同意する
男性	19	知らなかった	こんな所で公害が発生してしまったことを知らなかった。油という普通の食卓に出でてくるものが健康被害の原因となっていよいよ驚いた。	特になし	同意する
女性	32	知っていた	医師の病院側、政府の病院側の話を聞きたいと思いました。		同意する
女性	32	知らなかった	表舞台には出てこないでも、食品安全法が正しく適用されず、多大な被害を受けた方が報われていない事実を知り、驚愕した。自分が医師になった際は正直に患者の診断を行なうために自分の頭で社会のことを知りたいなればならぬと思った。		同意する
女性	21	知らなかった	食品安全法に基づき適切な対応をしていれば、被害にあい苦しんでいる方々を減らせらるはずなのに、今なおそのような現状にからず、その事件について時間で解決しようとしないような姿勢は問題があると思った。	特にないです。	同意する
女性	19	知らなかった	四大公害は広く知られているが、カネミ油症の被害については全くの無知だった。カネミ油症の被害者のように、声をあげ難げている人がいるかわらず、その思いが届かずしている人がいたり想像が膨らむ。		同意する
男性	23	知らなかった	安全を考えて食べていた食品のせいに中毒になり、また自分の子供に影響を及ぼしてしまった。この時の母親の心境は想像もつかない。そして今そのせいで苦しんでいる。ただその苦しみを世に伝えるために活動をして声をあげていろんが尊敬ですか。		同意する
男性	20	知っていた	患者のご家族が気をかねうらみ、自身の家族を被害にあわせてしまったことは非常に心苦しく感じた。また、母体から胎児への影響だけなく、男性の精子からも胎児が影響を大きく受けられる可能性があるとわかり、医学的な面でも、新しい知識を得た。		同意する
男性	20	知らなかった	カネミ油症事件のことは知らなかったのでそのままの事件があったというふうなことを知り驚いた。長い間被害者の方にきちんと説明がなれていないふうなことはとても悲しいことだと思った。被害者の方が元気なうちは、少しでも早く納得のいく説明がなれる事を願っている。		同意する
男性	18	知っていた	食品安全法を適応させた食中毒として認めるところなく、大学に研究を依頼して診断基準を作らせて被害をあまねく受け入れたと推し続けるのには驚嘆任思異様だと感じた。	素晴らしい試みだと思います。素晴らしい映画ありがとうございました。	同意する
男性	20	知らなかった	ただ普通の暮らしをしていただけなのに、油という日常によくあるもので、その後の生活が一変してしまったこと。また、その油の不思議なほどに他の補償もなく、やるせない想いだけが続いていることについて、本当に辛い思いをされているのだと思えた。		同意する
男性	19	知らなかった	カネミ油症というものを知らない、この映像を見て、その眞実を知ることができた。カネミ油を摂取した人だけに苦しさはあるのではなく、それ自身の子供にも被害があることがとても辛いと思った。そして、カネミ油症の方の偏見がなく、被害を負った女性からの娘に、娘が彼女があったり、抱き枕などの物を贈った。		同意する
男性	20	知らなかった	ただがんばっている食卓を口にまで言いつけるのに多くの被害を受け、さらにはそれが食中毒認定されずに放置されていたという現実を知り、やがてなぜ危険行為にならないか。	特になし。	同意する
男性	21	知らなかった	大学などの本來公正に調査などをすべき機関も基準を変えたりしていただけに不信感を感じた。	カネミ油症のことを知らなかったので、大変勉強になった。	同意する
男性	20	知らなかった	被害者の方々の訴えが国や大学に届いていない現実に衝撃を覚えました。	なぜ、食品安全法の適用に至らなかったのか、誰にメリットがあったのか気になりました。	同意する
男性	21	知らなかった	直接油を口にしなくても次世代の世代に影響を出してしまうのはとても怖いし他人事ではないと感じた。この問題をあやふやでしまうのは少なく、また自分の子供に問題があることを知り、問題を抱えさせない責任をとるべきだと思った。		同意する
男性	20	知らなかった	普段からよく買った油のせいで何の被害があるかと聞き抱き枕をねおぼえた。またその後カネミ油を製造した会社がまだ運営されていることを知り驚き立ちました。油に慣れておればそれほど危険性はないと思ってるけれども思いました。		同意する
男性	20	知らなかった	カネミ油症について、この映画を見るまで知らなかったが、自分の家族に同じことが起つたらと考えるとても悲しい事件だと理解することができた。被害者の方のお金負担が被償されることが重要だと思い、また同じような事件が起きないようにするには何が必要かを考えたかった。	特になし。	同意する
男性	20	知っていた	被害を被っているはずなのに認定されていない人がいるという事実とその原因を知ることが出来、非常に勉強になつた。		同意する
男性	18	知らなかった	大公害は知名度としては高い中、こうした悲惨な事件が過去起こっていたことを初めて知ることことができた。こうした公害は案外近くで起きていたかも知れないと、それをじられたからこそ、カネミ油症の被害者達の救済が十分になされないことに恐怖を感じた。しかし、それをじられたからこそ、自分たちが被害者であることを隠さず、この現象が身近であり、生じる可能性も高いことを恐怖を感じた。		同意する
男性	20	知らなかった	ここまで甚大な被害がでているにも関わらず、数々の被害が認定がされないといふ事実に驚いた。カネミ油症をニュースの中の話として終わるのではなく、いかにも自分の身に起こることとして覚えてほしい。		同意する
女性	20	知らなかった	自分が知らないうちに、毒物を食べて、それがどの代、孫の代で影響を及ぼすことの恐ろしさを知った。食品安全法という法律があつたのに、それに従わずに被害者認定が全く進んでいないことで、今でも多くの人が苦しんでいることを知らない人が多いと思う。もっとカネミ油症に対する認知度をあげることで、政府が被害者救済に前向きに取り組む動機を与えることができるといいと思う。		同意する
女性	19	知らなかった	普段食べているものによって、気づかないうちに生きることを奪われるに衝撃を受けた。被害は、身体的なものだけでなく、精神面、家庭の関係や社会的な立場、子孫などまで及ぶ。この現象が身近であり、生じる可能性も高いことを恐怖を感じた。		同意する
女性	19	知っていた	昔のことをとて見ると、人生が変わってしまうことにしてても恐怖を感じた。自分にも起こり得ると思う。	被害者に適切な対応はされたのか	同意する
男性	20	知らなかった	予期せず寒氣が来たためかと想ひました。人生が変わってしまうことにしてても恐怖を感じた。自分にも起こり得ると思う。		同意する
男性	21	知らなかった	今回の動物を見て初めてこのようことがあったということがわかった。なぜ被害にあった場合が認定がされないといふ事実がでてきたのか、それが自分たちに問題があるのか、この動物を少しの間見ただけで懼りを感じるほどであった。また、私の母は1970年頃に北九州市の病院で生まれた。もし、私の祖母がカネミ油を飲んでいたと考へると、腰痛が発症するような想いである。被害になった方達ががんばった結果が決して済むような規模の話ではない。しっかりと自分が救済するべきではないかと心の底から感じた。そして、被害に遭われた方達が社会に向けて発信できる場を設けるべきだとも感じた。		同意する
男性	19	知っていた	カネミ油症事件のことは何となく知っていたが、どういうもののなかは具体的にくく分かっていなかった。国や大学がきちんと対応を取ってくれなかったことや、それがどの代、孫の代で影響を及ぼすことの恐ろしさを知った。食品安全法として対応が取れてくれなかったことや、消費者が強く印象に残った。消費者は全くくまないにも関わらず、油を接種してしまったことに深い責任を負ってしまったんだろう。しかし、油を接種しただけであるので、自分を責めようにも納得出来ず、またカネミ油の被害者であることも認識していないのは非常に辛いことであつただろう。		同意する
女性	18	知らなかった	「悪いものがいる」と分かって貰ったときに、カネミ油を接種したことにより、一生付っきりと代償になり、それが自分自身だけではなく子供まで受け継がれていくとの恐ろしさを知った。また、母親からしたら、自分の子で子供に影響がでてしまつたことに深い責任を負ってしまったんだろう。しかし、油を接種しただけであるので、自分を責めようにも納得出来ず、またカネミ油の被害者であることを認識していないのは非常に辛いことであつただろう。		同意する
女性	18	知らなかった	昔の事件をいつの間にか忘れていたが、カネミ油症を認めて料理を作て振舞っていたつもりが、知らぬ間に毒カネミ油を食させていたのだといふ被害者の方々の言葉が強く印象に残った。消費者は全くくまないにも関わらず、油を接種してしまつたことに深い責任を負ってしまったんだろう。しかし、油を接種しただけであるので、自分を責めようにも納得出来ず、またカネミ油の被害者であることを認識していないのは非常に辛いことであつただろう。		同意する
男性	20	知らなかった	私は今年に入つたばかりでいつもカネミ油症のことを今まで知らなかったことが信じ難い。四大公害が日本史の教科書で扱われていて、認定基準が設立されたときに、多くの人が知るべき事件であると思ふ。同じ過ちを繰り返さず、被害に遭われた方を守るためにも、カネミ油症の存在を広めていくことが必要であると考える。		同意する
女性	19	知っていた	私は今年に入つたばかりでカネミ油症のことを今まで知らなかったことが信じ難い。四大公害が日本史の教科書で扱われていて、認定基準が設立されたときに、多くの人が知るべき事件であると思ふ。同じ過ちを繰り返さず、被害に遭われた方を守るためにも、カネミ油症の存在を広めていくことが必要であると考える。	カネミ油症の発生から50年経ったこのタイミングで映画を制作しようと思った意図を知りたいです。	同意する
男性	20	知らなかった	昔の事件をいつの間にか忘れていたが、カネミ油症を認めて料理を作て振舞していたが、何となく油を飲んでいた。そして、国がなぜかになるまで対応をしていなかったのかと心の底から感じた。過去に起きたタイタイ病や水俣病などの公害の教科書は何も活かせていないように思える。		同意する
女性	20	知らなかった	被害を受けた方々はたくさんいるのに、認定基準が設立されていなかったのが驚きだった。昔の事件を見た當時四大公害が広く認めていたが、それが自分たちの心の底から感じた。そして、国がなぜかになるまで対応をしていなかったのかと心の底から感じた。公害の教科書は何も活かせていないように思える。		同意する
女性	20	知らなかった	出席時に子供にも影響が出て、今でも症状に苦しむ方があることを知り、もっとカネミ油症について広く知つもらうことが必要であると感じた。また、症状がでていて訴えている人全體の6.2%しか正にカネミ油症であると認定されておらず、現在も戦っている人たちがいること、そしてその人たちの想いを知ることができた。		同意する

男性	19 知らなかった	カネミ油に毒性があることは、売った人も買った人も誰も知らずに使用してしまい、大問題になってしまった。そして、その被害をあった人は現在も多く存続しており、子孫まで症状が残ってしまっている。政府はこの現状をもっと強く受け止めて、カネミ油症についての研究を進め、しっかりと被害者は認定できるようになればいいと思う。	同意する
男性	19 知っていた	企業と行政の不十分な対応が原因だった。油を搾取した木だけではなくその子供達まで苦しむことに恐ろしさを感じた。環境や社会・安全への意識を高める重要な話で語れていましたように思いました。	同意する
男性	19 知らなかった	こんなことが起つてないことを知らなかったら、自分の身には起こりうることなので怖いと思った。	同意する
男性	19 知らなかった	ただがたり前に日常の中で「無く食べただけ」とそこに入っていたカネミ油が原因で健康被害を受けてしまう。日常に潜む恐怖感を知つた。	同意する
男性	20 知っていた	カネミ油症患者さんたちの痛みを感じた。「毒とわかつていながら買わなかつた」という話が「毒かどうか分からなかつた」と怖い話を繋げていた。本当に消費者側で避けようがない怖いことでした。	同意する
回答した	22 知っていた	過去に生じた事例について、その原因を図関係者が明らかにすることは時に容易でないことは承知しているが、それ故に補償が行われない怖い、遅延に対する心配をもつてました。	同意する
男性	19 知らなかった	子供の頃に親から食べさせてもらっていたもののせいであつて病になってしまった人は、怒りの向け先を失っていて、非常に辛うじて見えた。国があきらめとしから対処をしちらう行く人は必要があるよう強く感じた。	同意する
女性	20 知らなかった	子どもに影響があるため、カネミ油症となった母親の立場を考えると、本当に苦しく胸が痛くなつた。自分だけではなく大きい子どもも苦しめていました。恐ろしい公審でござった。カネミ油症が今まで知らなかつたが誰にも起こるかもしれないなどと感じた。オイキモが公審まれていると知らずに食べてしまつて何年にもわたって被害者が生じるのは本当に辛いことである。食中毒として扱い、適切な対応をすることで被害を減らすことができただろう。	同意する
男性	21 知らなかった	自分が普段食べている何か気ないものに毒性的な化学物質がもつておりこれまでにもたつて影響するなんぞ怖いと思った。水俣病は聞いたことがあるが、カネミ油症については聞いたことがなく、その違いについても政府の対応が大きく関係しているのではないかと感じた。	同意する
男性	20 知らなかった	日常生活で使う油の中に毒液を注入していたことは非常に問題である。また、その被害者が自分だけにこだまらず家族や新しく生まれた子供に毒液を注入していたということは、とても残酷なことだと思ふ。当時の教養はもはや不可避かとしなりが、せめて曲がり被害認定がちゃんとなされることを願う。	同意する
女性	19 知っていた	カネミ油症のことは知っていたが、政府の大半の対応がよくなかったことで被害が拡大したことは知らなかつた。これは今後教訓として生かすべきだと感じた。	同意する
男性	22 知らなかった	また、家族が知らないうちに毒液を食べてしまつた母親の気持ちを考えると、やりきれないものがあると感じた。被害者は知らないうちに毒液を摂取されられ、それによる被害があるのに被害者認定されない状況があると知って驚いた。	同意する
回答した	22 知っていた	食中毒発生が確認され、独自の診断基準で被害者の認定が行われていたことに驚いた。毎日使っているから時間も縛つても、健診被害者のある2世、3世が生じているだけで、亡くなつた方のためにも正しい基準での認定が必要だと感じた。	同意する
男性	19 知らなかった	カネミ油症の治療はまだ学校で習ってきた四大公害病とは違う症例だったが、ここまで被害の大きい事件だったことに驚いた。またこの事件が非常に世間に知れ渡つてないことにも驚いた。水俣病の教訓をうとじ適切な対応が行われていれば今は目で苦むる被害者はいなかつたろう。公審はもはろん事前に防ぐことが重要だが、起こつた後の対応も重要であると認識できた。	同意する
男性	19 知らなかった	カネミ油症のことを初めて知った。自分の知らないところで苦んでいる人のいるのに、自分は何もできていないというのに悔いを感じた。まずは、カネミ油症について理解して、被害者の方がどんな気持であるかを理解することが大切だと感じた。結婚の話が出てきた時に、差別や偏見の言葉を浴びせられたというものがあった。そのようなことが起つたのは、カネミ油症のことをついでよくわからない人がいたためであろう。ゆえに我々はまずはカネミ油症のことについて知ることから始めると考えた。	同意する
男性	19 知らなかった	故意に毒物を摄入してしまったのではないかに、被害者となった方が差別や批判を受け、まともな補償も受けられなかつた実情を絶対だと感じた。	同意する
女性	19 知っていた	食品安全衛生法が適応されなかつたのは大学が研究チームを作ったことが原因なのか、そうであるとしてもなぜ大学の研究チームに被害を決定する権限があったのかが気になつた。	同意する
男性	19 知らなかった	被害者や辛さが世間を超えて伝わっていくことを知り、公審被害者やその家族に対するケアや補償を社会全体で行なっていくのが避けられないと感じた。	同意する
女性	20 知らなかった	政府の处置が間違つたことや、治療を十分に受けることができなかつた人々が大勢いることを知つた。また、海水さまであるままなくなつていく人々や、何と言えずに今のような状況と戦つてゐる人がいると思うと心が痛んだ。また、カネミ油症に関わった場合は、おさらく一生懸命にカネミ油症と向き合つていただけ思う。しかし、それが本当にカネミ油症の被害にあつた方々の身体的な、精神的なな差異になつてゐるのか考へることが必要だったように感じた。	同意する
男性	19 知らなかった	水俣病などの他の公害病は義務化教育期間に習つたので知つていたが、カネミ油症も同じ、深刻な健康被害をもたらしたのに、まるで隠されていてみたいで知らなかつた。いつのまに生活をして悪いことをしたわけではないのに健康被害を受けてそのことを認めてもらえないでござ難にできないほど辛かった。	同意する
男性	19 知らなかった	毎日の責任として感じた。また食品を扱う企業には、化学薬品の扱いをより細かに注視して欲しいと思う。	同意する
男性	21 知らなかった	学校や中学校での社会の授業で様々な公害、健康問題について学んでいたが、まだ国に十分に係留されていない病気があるのなど驚いた。また、その症状が子供にも出てしまつてこれがこの病気の残酷なところであると思う。何も知らない子供に将来病気が出たると悲しくて心配が尽きないと思った。	同意する
男性	19 知らなかった	何も知らぬまま食したから、深刻な被害が生まれ、今はおお苦しんでる人達がいるということを痛めた。何世代にも渡つて影響が残っているのもかわらかず、認定者があまりにも少ないので重大な問題であると思つた。これからも記憶に残る事象であつて、国としての対応が改めてほしいことを願つた。	同意する
女性	22 知らなかった	カネミ油症について初めて知った。関係があるのは明確なのに認定された人が6.2%しかいないことが衝撃的だった。	同意する
男性	19 知らなかった	国を代表する医療家などが選ばれ災害時などで国民の命を守ると号していながらもかからず、見てみぬふりをしてしまう現状に腹が立ち落胆した。	同意する
男性	20 知らなかった	カネミ油症の上に公害としているものの、国の適切な対応を取るに至ることに悲しみを感じた。私たちは、普段平気だと思われる食べ物が毒として体内に入れる恐れを抱えなくてはいけないということも学ぶことができた。	同意する
男性	20 知らなかった	被害者の方々やその周りの方々にとてもも社長経験を経たったと思うが、もしかしたらこのようなことが自分に起こるかもしれないということを思うと、とても恥ずかしさを感じた。また、カネミ油症を認めた方の多くが自分の方に少ないが、カネミ油症の人に対する偏見によつて苦しむだけではいけない防ぐべきであると思うため、自分も専門家に対して正確な知識を傳へようとしているような態度を無くせねばならないに思つた。	ありません。
男性	19 知らなかった	私はカネミ油症の存在を知らなかつたが、この映像を見て、カネミ油症の被害者が方の相当苦労をしていたということが痛く伝わつた。自身が家庭に美味しいと思って欲しくて作つていていた料理が、実質的に毒物に毒物と見えてしまつたという氣がしたくなる出来事が起つてしまつた。また、カネミ油症を認めたため、自身の子供に母乳を与えることができないなど多くの苦しむ味わつていてどうり、この二つなことが起つらないようするべきであると強く思つた。	同意する
男性	20 知らなかった	カネミ油症についてこれまで全く知らなかつたので、こういった事件というのは自分が知らないだけで数多く存在しているのだろうと思う。	同意する
男性	20 知らなかった	食料品に毒物を混入してしまうことは今でもあるため、その問題を完璧に改善するのはなかなか難しいだろう。だからこそ、事故が起きてしまつた後にどう対応していくかという点はしっかりと力を入れるべきであると実感した。	同意する
男性	19 知らなかった	カネミ油症という誰そのものを開いたことがあつたが、詳細な事件等は知らず、このドラマにて衝撃を受けた。日本政府がなかなかカネミ油症を認めて被害者の認定が進んでない状況はほかの病気においてもよく聞い話をあり、法によって切り離されているのではなく、立法の目も違つた国(競争)にいとうと内閣が、ここでは国会と内閣が非常に近いものにして書かれてもららうとしているかと思つた。	同意する
男性	19 知らなかった	カネミ油症にかかつたといふことに驚いて、偏見や被害の被るをあくまで受け入れる必要があると思った。食中毒として認定され、このことに関する懐疑的・理解が多くの人たちのあいで広まり、共にされることで、被害に遭られた方のお気持ちが少しでも和らぐのではないかと思つた。	同意する
女性	21 知らなかった	カネミ油症の被るを気にする親や、子供にいる影響があるという点が、この食中毒事件が非常に多くの痛みを招くものとなつてはいる事実だと感じた。子供にも影響があると分かれば、婚姻の上の差別をもつて、さらには被害者の人々が子供が苦しむ姿を見るたびに、負う必要のない罪悪感に苛まれ続けることとなることは想像に難い想像できる。	同意する
男性	20 知らなかった	生活中で何時もよく食べているものの中に有害物質が含まれていて、そのせいでの一生症状に苦しまなくてはいけないという辛さ。海水さまであるまでも大きなものだろと感じた。また、今回の事例では、苦むのは自分だけでなく、家族も巻き込んでしまう、巻き込まれてしまうといったいふの印象に残つた。カネミ油を買いて、家族にそれを使つた料理を振舞つたことで家族も苦笑してしまつた。また、要するに誰かがいる子供も、子どもに被害者が残つてしまつたという罪悪感。辛さはとても大きなものだ。一生物殺されたらの辛さを理解する事が出来た。	同意する
女性	20 知らなかった	実際に被害者があつたと話を聞いて、国や研究機関で被害者を認めて貰えなかつた人が凶山になるのだと分かれた。ODDやWCDの深度と廣度を重視していく上で、これまでの公害病ではではないといふという回答を聞くことができたことが衝撃であった。1番多いのは被害者の方のない、その他の理由で認めて貰えなかつたといふ回答を認めた人がいることがショックであった。また、要するに誰かがいるれば買ひやすいといふから被害者を認めようとするが印象的であつた。今自分の胸に体に特に優しくわかつてしまつてゐるものがどれだけあるだろうか。当たり前のことをではあるが、分からなければ被害が起きる。自分の身につけ起きてしまふかしないかといふことを実感した。	同意する
男性	20 知らなかった	食品による健康被害はすぐに対処され、被害者は補償されるものだと思っていたが、現実は現代でも起こりうる問題だと思った。身近な食品による被害は、現代でも起こりうる問題だと思ったので、非常に心に残る作品であった。	同意する
男性	19 知らなかった	食事をしただけで一生その事に悩まされたのは本当に悲惨な事だと思った。その人本人だけでなく、その人の子供にまでその症状が移つてしまつたと、そのことを見逃さないで対応なのだと本に辛いことだと思った。また症状がおさまるにかけては時間がかかる、カネミ油と子供との子孫まで苦しむことなどが起きつていて、これが原因で認定をされると感じた。	同意する
女性	19 知らなかった	ただ普通に食事を食べただけなのに、人生が大きくなつてしまつたのは本当に辛いことだと思った。また症状がおさまるにかけては時間がかかる、カネミ油と子供との子孫まで苦しむことなどが起きつていて、これが原因で認定をされると感じた。	同意する
男性	19 知らなかった	カネミ油症という公害の件をこの映像で初めて知った。化学物質によって引き起された健康被害で、母親がかかるといふことは、また、要するに誰かがいるれば買ひやすいといふから被害者を認めようとするが印象的であつた。原因がカネミ油とはつきりしてい、同じような症状を持つ被害者がたくさんいるのに、行政が認定をあまりしないのには疑問が残つた。	同意する
男性	19 知らなかった	カネミ油による影響が、他の諸々や精子を含めて子どももも脹らむ、非常に多くの人が現在も被害を苦しめていることには衝撃を受けた。また、要するに誰かがいるれば買ひやすいといふから被害者を認めようとするが印象的であつた。	同意する
女性	34 知らなかった	なぜ無理な気持になつた。なぜなら、カネミ油と症状に明らかな因果関係があるにも関わらず、被害者は認定されることがなく、訴えを続けている。この因果関係は九州大学の石油研究班以前の学者は認めているにも関わらず、なぜ世界とカネミ油塵は公害の許可が下りて開拓で、被害者を守られないのである。自身の国は安全と思って生きておられたよりもグレーバーでも日本の公害はなぜ難航している。それなりの内部でこのようなことが起つるは言措造断である。	同意する
男性	19 知らなかった	カネミ油症は食中毒が適用されなかつたのかと思った。被害者がここまで広範囲に渡つてゐるのにこのような対応をしているのが理解できなかつた。	同意する

男性	19	知らなかった	よく公害病の話は聞くが、カネミ油症事件という同様に悲惨な事件が起こっており、それはあまり認知されていないというのが第一印象だった。	同意する	
女性	19	知らなかった	通常通りに食中毒検査が行われなかったことや、油を作っていた会社の対応（過去も現在も）は不信感や違和感を覚える内容で、起ったことに対してしつかりと対応を行っていたが、このようなことはならなかったと感じた。	同意する	
男性	19	知らなかった	政府がカネミ油症を隠そうとしているように見えて、不信感があった。被験者の方にとって、原因を隠されたままである状況は苦しいと思う。カネミ工場は現在でも稼働しているとあったが、今どのような思いがあるのか聞いてみたい。また、なぜ食品衛生法から逸脱した方法で対応したことの説明してほしいと思った。	同意する	
男性	19	知らなかった	悪い物質だと知られたときに家族にそれを与えてしまったという話を色々な方が話していく、いざ自分も同じように、悪気なく善意で他の人のためにものに毒があったら、一生懼引きずっとしまうと思いました。そして、そうした事件にあってしまったことはもう取り返しのつかないことで、それが原因で認めないとという姿勢には映像を見ていて大変怒りを感じました。	同意する	
男性	19	知らなかった	日常生活でなげなく利用していた食品によってこうした被害に会うのはとてもやるせない気持ちであった。映画の中にいた、「こんなに悪いものがあったって思ってもらっていた買っていた」など辛いことを聞き、なにかに当たら良いのか知らないのはとても辛いのかと思った。また、当人だけなく2世3世へ影響があることが被験者を増大していると思った。また症状によるものだけでなく差別や偏見によって被験者があるのとても辛いと思った。	特になし	同意する
男性	19	知らなかった	カネミ油症被験者の方が、なぜ結婚するのかと責められることに対して、カネミ油症についてよく知ったうえで批判していないと言っているのが印象的だった。世間的には事件が風刺してしまって中で、当事者の方々が抱いている思に燃えるところがとてもよかった。食品衛生法に基づいて食中毒として認定されれば、このような事態にならなかったかもしれないと思った。悔いが残った。	同意する	
女性	21	知っていた	カネミ油症は水俣病をタイタイ病と比較すると教科書にも詳しく書いていない、今の被験者にとっては昔のものとして扱われている。そんな中での今回の映画を見押し、まだ認められていないだけでカネミ油症に苦しめ続けられている人々が多くいることを初めて知り、食中毒で認めたばかりの自治体に疑問をもつた。触合う機会もなかったカネミ油症に向き合い、国全体の化学的な原因の病気についての向き合いで悪い面を学びた。	同意する	
女性	18	知らなかった	カネミ油症のことは聞いたことがなかったし、動画の冒頭部分では昔の話だと思って聞いていたが50年たった今でも苦しくしている人がいるのだと知った。50年前だからこそ今カネミ油症など診断してもらわなければ誰が怪しい人もいるだろうか、無念など思いながらくなってしまった方もいると思う。当時大切な対応を取ればそのような思いの人が出るとともになかなかだ、あとはならないと思う。せめて苦しい人々が適切に判断されることを願う。	同意する	
女性	23	知らなかった	カネミ油症患者の苦しみは、治療法が確立されていないことだけでなく、患者が認定されないことで医療への認知や十分な補償がされないこともあります。それによって周囲から心無いことを言われて傷つけたり、子供の将来に悪影響を及ぼしたりといった被験者が被っている方もいると思う。私たち日本社会は、一刻も早くカネミ油症の存在や患者の方の心事情に周知し、被験者の苦難を進める努力をすべきだと感じた。	発児期にダイオキシン類に曝露された方の症状が改善されることはあるのか。	同意する
女性	19	知らなかった	食品衛生法に沿って対応しなければならないところ、大学が勝手に基準を設けてしまい、その結果認定される人がこれまであるというのではなくてはいけない問題だと思った。また、両親のどちらかとも症状があるとそれが子供にも繼承がれてしまい、かなり前の事件であるにもかかわらず私たちの世代でも症状が出る可能性があるということを、被験を食べる正止めにも迷わず対応が出来ただと思った。	同意する	
男性	19	知らなかった	結婚の時に特に恋愛が多くの人いることをわかった。また、それが女性によく起こっているよう気がした。勿論、男性も病気を子孫に受け継いでいるということがわかつたことで、差別はがっつりしまったとは思う。しかし一方で、性別多少は少なくなったかなと思った。また、何より医師の発言がずっと患者の心に寄り続けるのが一番印象的だった。何よりも元気な患者さんとの心のこり、大きな影響を与えてしまったのがわかつたので、医師にならうと決意一つで気配られないわけはないと思った。	特になし	同意する
男性	20	知っていた	カネミ油症も水俣病も公害として扱われているが、食品衛生法にのっとり食中毒として処理されなかったことは疑問を感じた。國も医師も研究者たちも何か隠していることがあるのではないかと疑ってしまう。	公害として扱われるのと食品衛生法に則って扱われるのとでは国からの支援を含めて違いがあるのか気になった。	同意する
男性	21	知らなかった	私は今まで、公害として扱われるカネミ油症について知らなかった。約14000人の被験者たちの訴えが、基準に当てはまらないといふ理由などといいくらいに衝撃を受けた。1968年に起きたこの事件の被験者は、年月が経つほどには記憶が薄れてしまう。やがてせりふを抱き合ったままになってしまった。このことで毎回から偏見を持たれており、とても辛い想いをしている。医療者は必ず治療法を探すのはもちろんのこと、適切な医療を提供していくことで、そういう偏見から被験者を守ることは最も重要なだと感じた。	吸玉療法については正しい療法なのでしょうか。	同意する
男性	20	知らなかった	ただただ普通に暮らしていた中で食中毒の被験に遭うことや、それにより家族の絆が壊されかねないことにとても恐ろしく感じた。しかし、その中でも、家族で助け合いかがらもしにカネミ油症に巻いている人がいることに感動しました。	同意する	
女性	46	知らなかった	恥ずかしながら、カネミ油症のことを知らなかった。食品衛生法に則らなければ認定基準を設定したたまごのような悲惨な歴史になってしまったこと、次世代になってしまったこと、被験者の差別は広く知られなくてはいけない。自分が被験者認定をしたくない偏見が持たれていたので、これまでの被験者の被験を最優先すべきだと思った。	カネミ油症については、知っていましたが、国から認定されていない方ががここまで多いとは知りませんでした。	同意する
女性	36	知っていた	カネミ油症被験者はほとんど認定されていないことをじめじめしました。食品衛生法に取り組むべきではない理由は、国が被験者認定をしたくなかったと考えるとあります。やがてと感じました。また、何も知らずに油を購入して、大切な家族の為に料金を作った方の気持ちを、どれほど辛かったのかを考えると胸が痛くなります。	同意する	
男性	19	知らなかった	一般的に家庭で使われていた油によって何世代も続く疾患が生じていたことが非常に印象に残った。終盤で矢口さんの言っていた、「愛情を込めた料理をまるまつりつもりで、家族に毒を与えづけていた」という言葉が心にのこり、カネミ油症患者の親族の想いの辛さを感じることができた。	同意する	
男性	20	知らなかった	売っているものの中にはあったことに衝撃を受けた。被験者の方は避けようがなく、今まで油症で身体的な苦しんだことさらに差別など精神的な苦しみを抱えらる崩壊が痛くなかった。	特になし。	同意する
男性	20	知らなかった	今回の動画内に出てきたカネミ油症のように、その毒性が十分に知られていないままに製品が販売されることには強い恐怖を感じた。被験者の方が「知りついでなければ買わなかた」と涙ながらに訴える場面には、科学の責任の大切さを強くさせさせられた。	知識のない私でもわかりやすかったです。	同意する
男性	32	知っていた	いつの通りの生活をしており、そのなかで家族を主食の用意をしていただけに何度も関わらず重篤な病にかかってしまうのが恐ろしかった。行政が国と地方で影響が広がっていくと云うことは、本当に怖いと感じた。	被験者のみならず各方面の意見を取り上げたことでカネミ油症の全体像と問題点を理解しやすかった。	同意する
男性	20	知らなかった	正直なところ、自分はもしかしてこれから起り得るという点でとても心配な感じだ。また、自分の知らないところでそういう事件が起つていただけに、それが大きな事件が世間にあまり伝わっていないということが少し悲しかった。	同意する	
男性	19	知らなかった	食品の影響で症状出しているとは正確に分かっていないのに、認定されず国からの支援を受ける人は困るがいるというのを知らなかったので驚いた。このような問題があるとは思ってもいなかった。被験者の方たちは症状が織き自分達の立場にも症状が出ているにも関わらず、支援もしてもらえないというのは無念だと思った。多くの人に知つてもらえるといいと思う。	同意する	
女性	19	知らなかった	この映画を見てカネミ油症のことを初めて知った。日常の何気ない食事の場で食べた物が毒性でその人の人生に大きな影響をもたらしているのが非常に恐ろしいと思った。被験者の方の言葉に、たまたま、誰も毒入りだらうかって料亭で刺身を食べたりしたわけではない。被験者の方は何を知らないまま被験を受けることになったにしろ関わらず、政府が最初は対応としていないことに納得できなかった。被験者の方はカネミ油症による症状に苦しむだけでなく、差別や偏見によつて精神的にも大きな傷を負っているだろう。自分にも起り得る出来事であるからこそ政府や大学の対応方針には疑問が残った。	同意する	
男性	24	知らなかった	男性の構造からカネミ油症の影響が出るというのが最も印象に残った。カネミ油症が出来る原因是化学物によるエビデンスティックのものなのかなと感じた。	同意する	
男性	21	知らなかった	何をかいことをしていでもないにもかかわらずいくつもの症候群が痛く伝わってきた。被験者の方の親心には理解されないけれど、被験者の方には、言葉でできない辛さを感じたのだと理解された。	同意する	
男性	20	知らなかった	カネミ油症という病気を知らないことが恥ずかしく思えた。自分は九州出身で、約20年間住んでいたのにカネミ油症のことを知らなかったので、全国的に見て知らない人が半数あるようと思う。50年過ぎた今でも映画はあるような運動を続けるのは、相手の方が必要だと思った。それでこの病気のことを知らうることが大事なのだと感じた。	同意する	
男性	29	知らなかった	全く、井がなく、幸運で日々を暮らしていた人々が、ある日突然して、自身や子孫の代に至るまでの健康被害を受けている。これが、たまたま健康被害だけでなく、理解のない人々から偏見をめぐら偏見や差別を受けていた。彼(彼女)らは違う方向から過度な偏見や対立を受ける権利はあるはずであるが、それが叶っていない。カネミ油症の被験者と認定を受けている人の割合の少なさでそれらの運動をしているだろう。それどころか、この一件で開拓する人々が増えるたびに、国が被験者救済に取り組まない理由が分からなくなってきた。	同意する	
女性	19	知らなかった	知らずにただ食べただけの被験者にはわからないと言ふ意味がすごく感じた。どうすればよかっただのかと考えても、被験者からすればどうしようもなかった。と言うしかない状況がとても辛くてつらすことなどのだらしなどを感じた。何世代にも渡って繰り返される被験者がカネミ油症から逃れられない一つの理由なのかなと思った。自分にも起こることかもしないと想えて、真摯に受け止めた。	同意する	
男性	19	知らなかった	差別や偏見などで周囲から隠されたりしたかった。自分だけが隠されたりしたかった。特に、食中毒に対する偏見や非難があることは、自分だけが隠されたりしたかった。被験者の声は何を知らないまま被験を受けることになったにしろ関わらず、理解が受けられる人の割合の少なさでそれらの運動をしているだろう。それどころか、この一件で開拓する人々が増えるたびに、国が被験者救済に取り組まない理由が分からなくなってきた。	同意する	
女性	19	知らなかった	カネミ油症の大きさを理解するには、被験者の声を聞くのが最も印象に残った。特に、食中毒に対する偏見や非難があることは、自分だけが隠されたりしたかった。被験者の声は何を知らないまま被験を受けることになったにしろ関わらず、理解が受けられる人の割合の少なさでそれらの運動をしているだろう。それどころか、この一件で開拓する人々が増えるたびに、国が被験者救済に取り組まない理由が分からなくなってきた。	同意する	
男性	18	知らなかった	カネミ油症事件という知らないかった事が水俣病などの有名な公害病と同等のものだと知った。政府が食中毒と認めないために保健院などがなされていることに気が付いた。国民の生活の水準を上げることの目的である政府が自ら身に走つて公害を防ぐぞういうのだと感じた。	同意する	
回答した	20	知っていた	カネミ油症の大まかな内容走ったのだが、実際に起きる被験の大きさはどちらかとん、政の対応があまりに杜撰であることに気が付いた。食品衛生法が遅れていたことと、カネミ油症の被験者の方々の立場になるのはどちらかとん、この原因を究明することで、今後の起きるかしらしない食中毒事件の被験を減らさないかと思つ。	同意する	
男性	20	知っていた	カネミ油症について聞いたことはあったが、実際の被験の様子や被験者の声については知らなかったので、勉強になった。自分が買つて来なければ良かったと言つた話や、結婚しようとすると偏見や非難があるなどの悲痛な叫びに胸が痛かつた。	同意する	
男性	22	知らなかった	今回見た映像を見て、日本の公害病のような大規模な疾病が発生していること知つて非常に衝撃的だった。被験者の人は生まれた方が多數の公害病で亡くなり、もう人は差別などで苦しんでいた。しかしこれらの被験が大体はならなかった可能性があるといつて、国はそれを考えていいのだろうか。昔の問題だと思っていたが、今はなお続いている。	同意する	
男性	20	知らなかった	知らないうちに食べていて身に異常が生じて、彼らは恐ろしいことだと感じた。このようなことは自分の体に生じて、どうか可能性もあり、身近なところにあるようを感じた。	同意する	
女性	18	知っていた	カネミ油症事件といふ名前だけ聞いたところは、他的にほとんどなかった。偏見や差別に苦しんでいる人が多くおり、終わつてはいるようだ。	同意する	
女性	21	知らなかった	母親が家族のためにご飯を作つてそれを提供してだけなのに、自分がカネミ油の症状に悩むだけでなく、他人に被験者を出してしまつた。國の支援などに自分たちの力で対応して戦つた機関が、法に従つて適切に対応すればこのように被験が大体はならなかった可能性があるといつて、国がそれを認めたのだと感じた。	食中毒生法にのつとれば認定されることに対する説明がもう少しあるとわかりやすいかもしれません。	同意する
男性	18	知らなかった	私はカネミ油症のことを知らないかったが、このような悲惨な食中毒事件について知り驚いた。また、事件の後の行政や病院の対応にも問題があり、今度は誰がどういふた。	同意する	

女性	18	知らなかった	カネミ油症について初めて知った。カネミ油症が問題になった当時、食品衛生法が適用され、食中毒としての処置が取られていれば、このような問題はなかったのに、どうして政府は対策を取らなかったのかと疑問に思った。しかし、現在その疑惑について、探って、カネミ油症事件の実害が無くなるまでは無いと考える。また同じようなことが起り、被害者を出さないよう、国民はこのような事があったことをしっかりと教えておくこと、政府は直ぐに食品衛生法に則った処置をとることが大事だと思う。	同意する
男性	18	知らなかった	今までカネミ油症について知らなかったが、その被害は甚大であることを知り驚いた。また水俣病のように国が法に乗り取らずにカネミ油症認定を認めず、被害者の救済ができない現状は早く変える必要があると感じた。このカネミ油症の影響は何世代にも及ぶ、はやく対応しないと大きな悪影響があると感じた。	同意する
男性	19	知らなかった	今までカネミ油症の理解がまだ足りてない感じでした。企業や制度の問題により、被害者が救済されない事例があると理解しました。被害者に認定されないと事態が有耶無耶にされ、まるで何も無かったかのように振舞っているのが非常に悪質であると感じました。原因が明かなように感じられることで認定されないのは新型コロナワクチンのときも同様だと思った。政府の対応の荒さを感じました。	同意する
男性	19	知らなかった	他の食中毒事件とは違うカネミ油症事件の異質さを知った。その他の食中毒事件にも同じことだが、無関係的一般人たるが汚染物質を食したという理由だけで身心とも苦しむのはおかしく思えた。政府、行政、企業の毅然とした対応が求められるところを強く感じる。	同意する
男性	20	知らなかった	カネミ油症という病気は、カネミ油が原因となっただけでなく、行政の対応の不手際というものも原因となっているだと考えた。	カネミ油症患者のありのままの声を届けるドキュメンタリーとして、非常に高い完成度となっていた。
男性	18	知らなかった	被害者の方の同じ症状が出ていても認められないことだけではなく、カネミ油を直接採取して症状が出ていると聞かず、被害者とて認められないといふ事に驚いた。時が経つて記憶から覚えていってしまった被害者の方にいる人が多くなっているだろう。	同意する
男性	19	知らなかった	今まで学校で四日市さんぞくや水俣病といった様々な公害病について学んだがまだ世の中的にも知られてなく、かつ、多くの人が苦んでいる公害病があることを初めて知った。この映像を見てもっと国の保障が行き届くべき病気がたくさんあると感じた。	同意する
女性	19	知らなかった	油は基本的にどの人も取るものだから、そうした油が原因で病気にかかるのは非常に怖く感じた。また、食中毒の原因がは確定していないのに開拓せず、食品衛生法に従わない企業を知り、行政や企業が必ずしも適切な対応をしてくれるとは思えない。これを理屈を立てる必要があると感じた。	同意する
女性	20	知らなかった	カネミ油症についてこれまでが名前で聞いたことはあるような気がするが、詳しいことは何も知らないので、5年以上前に見た事件で同じく大勢の人が大勢死んでいたことを知り怖化を受けた。今も認定されない方たんが少しでも早く致死性の病気に対する警戒をはねるようにならうと頑張った。	同意する
男性	20	知っていた	カネミ油症については知らなかったが、食中毒として國から認められないと感じた。その他の公害病よりも大勢死んでいたことを理屈を立てて、カネミ油によって自分の産んだ子供が死んで偏見に苦しみ、また長い間症状に苦しむというのはとても辛いことだと感じられた。更に、病気による身体的な差別は、体の不調と共に苦しむ要素が多いのは良くないと思った。	カネミ油のことを呼びかける人たちの思い
女性	26	知らなかった	市販されているカネミ油に毒物が入っているとばかり購入し、家族や子供まで被害に遭わざしました妻や母親の苦しみを考えると心が痛め付けられた。被害者たちは何の罪もなく、その怒りや苦しみをぶつけられることもできずにいると思う。そんな中で、食中毒事件として認定もされない現状があることに随和を感じた。	同意する
男性	21	知らなかった	診療でなるべく早くにこのような公害に気づくためにも、危険化學物質や公衆衛生に対する理解を深めたいと感じた	カネミ油症は発症者から第3世代までも影響はあるのか
女性	19	知らなかった	危険なものに入ったなんて知らなかった」と被害者の方が涙ながらに語っていたのが印象に残っている。本当にその通りだと思った。何気ないくらいのものでやる事がつとつだけなのに被害を受け、その2世の子供達にも被害が及び、兄弟や偏見に苦しんでいた人たちがいたことを初めて知った。	同意する
男性	19	知らなかった	こんなにも被害者がいるからこそ、誰かがいつかはやく認めて付ければ、被害者の名前をすら知らないのが恥ずかしいと思った。この動画を見ても、自分たちが何をなく購入して口にしたものが毒物のもので、それにより子や孫の健康に害が出るというのは恐ろしいものであると感じた。	もっと周知させてほしい。
男性	19	知らなかった	なぜこんなにも重大で広く多くの人が被害に遭っているこの事件が医学科一年生が知らないほどになってしまっているのかと言うこともあっても疑問に思ったし、知らなかった自分が少し恥じるような、そして悔しいような気持ちになりました。そして一般的有名な四公害にはならないでもいいようなものもある。今まで行歌やカネミの匡で負けてしまっていたところを私は絶対に風化させてはいけない。許してはいけないと思いました。被害者の子供も被害者であるという部分を行政、世間一般で広く浸透させ、被害者を支える体制がとても必要であると感じました。この動画を胸に刻んで、これから学習の方進めいくことを思いました。	同意する
男性	21	知らなかった	自分が知らないところで今度は被害に苦しんでいる方がいる。今回の映画を見ることが出来れば今後知らない今までいた可能性がある。被害者の方の存在を知らなければいる。それは非常に嬉しいことであると思った。被害を多くの方に知ってもらうことで次の被害が生まれないようにすることや被害者の方を助けることに繋がると思った。	同意する
男性	29	知らなかった	こののような食中毒事件が起つたことは知らなかった。このカネミ油症というものは被害とは違うのかもしれないが、たくさんの被害者が出した食中毒事件なのだろう。また、本人大きでなくその子供にも症状が出来るほど影響が大きいのに、あまり後の話題にならないといふのも不思議であると感じた。自分たちが何をなく購入して口にしたものが毒物のもので、それにより子や孫の健康に害が出るというのは恐ろしいものであると感じた。	同意する
男性	18	知らなかった	「ただつものようご飯を食べただけ」という言葉がとても印象に残った。患者の人たちは我々のようにご飯を食べただけでは被害者になってしまい、差別まで受けなければならなくなってしまう。本人だけではなくその子供にも影響が出てしまって、大きな障壁を持って生まれてしまうことがあるということを知った。患者にとっては嘘せないことに思っても、思はんでも恥ずかれない事だと思った。また、政府や大学の研究者たちの対応はおかしいと感じた。政府が被害を引き受けさせたくないために基準を厳しくしてしまったことや苦しんでいた人たちが救われないというのはあってはいけないことだと感じた。	同意する
女性	19	知らなかった	自分が今日今までにカネミ油症のことを知っていたからこそしておくべきだったとも思ったが、自分が知らないということがカネミ油症になかったことにしたという国の恵思の証であるのかもしれないとも思った。普段使うスーパーに売られているものであれば、安心して買ってしまうので、被害者は大変無念だうと思った。また、2世が認定されないということもやがて切れないのであると想像した。	同意する
男性	19	知らなかった	カネミ油症の種類のうちの一つを初めて聞いた。まさしく私が被害を受け、症状を発症しているのにもかかわらず認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。特に油は食事で多く使う。母親が(父親もかもしれない)が子供もや家庭のためを思って作った料理が実は毒で、ずっとそれを食べさせ続けてしまっていたというは、母親としてももうつらいことだと思った。	カネミ油症について知らない人が多かったと思う、今日初めて知ることができるとしてとてもよかったです。多くの人にこのカネミ油症のことについて知ってもらえるようになればいいと思った。
女性	19	知らなかった	カネミ油症というのを初めて聞いた。まさしく私が被害を受け、症状を発症しているのにもかかわらず認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。特に油は食事で多く使う。母親が(父親もかもしれない)が子供もや家庭のためを思って作った料理が実は毒で、ずっとそれを食べさせ続けてしまったとのうは、母親としてももうつらいことだと思った。	同意する
女性	19	知らなかった	この動画を見てカネミ油症を知り、食品汚染による甚大な健康被害がどれほど深刻なのか実感した。長年にわたり多くの被害者が苦しみ、曲げを経て健康被害が続いたところが印象的であるが被害者の側面である。化学物質汚染の重要性や、企業と政府の対応をうなづかず、被害者の方の対応と支えられたと痛感した。	最近の食品関係の事件についても知りたいと思った。
男性	19	知らなかった	カネミ油症が食品中でして認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。特に油は食事で多く使う。被害者の方の心情を察して感じられる映画で、とても考えさせられました。カネミ油症について、その全容をほとんど知らなかったのですが、まさに心が折れました。特に、カネミ油症が食品衛生法にのっとって対応されていなかつてに驚きました。我々はこの出来事の重みを理解するべきだと思います。今後、国はきちんと対応していくなければならないと思いました。	同意する
男性	21	知らなかった	カネミ油症を食べてしてしまったので、被害に遭った方の会員登録をしていました。カネミ油会社が政府の貯蔵をしてしまったといふのを耳にしました。科学を扱う我々にとって、健康被害が続いたところが印象的です。被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。	PCBとしてではなく、カネミ油問題として扱われているのはなぜか気になった。PCBの実用前の安全性の確認などが適切に行われていたのか疑問に思った。
男性	20	知っていた	被害者の方の心情を察して感じられる映画で、とても考えさせられました。カネミ油症について、その全容をほとんど知らなかったのですが、まさに心が折れました。特に、被害者が食品衛生法にのっとって対応されていなかつてに驚きました。我々はこの出来事の重みを理解するべきだと思います。今後、国はきちんと対応していくなければならないと思いました。	同意する
女性	18	知っていた	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
男性	21	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
女性	19	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
男性	21	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
女性	18	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
男性	20	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
女性	18	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
男性	21	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
女性	19	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
男性	23	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
女性	21	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
男性	20	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
女性	19	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
男性	19	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
女性	20	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
男性	19	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
女性	21	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
男性	20	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
女性	19	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
男性	21	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
女性	19	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
男性	21	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
女性	19	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
男性	20	知らなかった	被害者の方の認定が遅れてしまったところが印象的です。被害者が認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	同意する
女性	40	知っていた	カネミ油症で苦しんでいた患者様の実態について詳しく知らなかった。食中毒で認定されず補償されないといふのでもっとも辛いことだと思った。	現在のカネミ油症による疾患や治療法

男性	19	知らなかった	カネミ油症をそもそも知らなかつたため、このような被害を受けた方がいることそしてその被害に今でも苦しんでいる方がいることに気がついた。また、カネミ油という原因がはっきりしているにも関わらず、未だにカネミ油症と認定されない方が大勢いることそしてその悩みはなかなか周囲に告白することさえも難しいことであることを知つた。 特に印象に残っているのは、カネミ油症の語り部として活動する下田順子さんの話である。母親になんてカネミ油なんか買ってきてきたのかと思つたという話で、母親の毒性があると知つていたらカネミ油なんて買ってこなかつたという言葉が印象に残っている。後悔しても後悔しきれないことだと想つた。	特にありません。	同意する
男性	20	知っていた	真っ先に食品衛生法はそんなにいいものなのだろうかと疑問に思った。食品衛生法に従つていればこんなことはならなかつたという話があつたが、そのような神格化はまた別の問題を生むようを感じた。本来第三者として調査すべき調査班が被害者を少々見積もるような行動を起していたのでしたる間接だと感じた。		同意する
男性	21	知らなかった	カネミ油に毒を混入したことの重大性を理解していないため、認定や補償がされていないと感じ、行政はもっと被害者の声を聞いた方がいいと思った。	カネミ油の会社がまだを営業しているが、会社にどのようなことを伝えたいのか教えていただきたいです。	同意する
男性	18	知らなかった	何も知らずにカネミ油を摂取してしまったことで、病気になってしまい、それが自分よりも後の世代にも受け継がれてしまつたことは恐ろしいことだと思った。こうした事案は、ついでにか違ひ話をどのように感じてしまうが、身近なところではいつまでもおおかたはないだと思った。		同意する
女性	19	知らなかった	カネミ油症事件については全く知らなかつたが、この映画を見てたくさんの方々が今もカネミ油症に悩まされていることが分かつた。多くの人が自分の症状の心配をしているのではなくて、自分の子供たちに症状が出てしまつたこと、出てしまふ可能性があることを考へて、カネミ油を子供にふるまつてしまつた親の気持ちを慮つていてたりしているのを見て、彼らの助けが必要だと感じた。		同意する
女性	19	知らなかった	この映画を観て、初めてカネミ油症事件のことを知った。被害者やご遺族の方々、カネミ油症のことを多くの人に知ってほしいのに、心身ともに非常に辛い思いをするようになったのを知つて、絶対にあってはならないことだと思った。また、子どもにもますで影響が出てしまうため、被害者がさらに辛かったと思う。生きるために必要な食事だ食品衛生法が厳守されなければならぬと感じた。		同意する
男性	18	知らなかった	カネミ油が原因で多くの人が苦しむ事実を知ることができた。カネミ油を食べた方ももちろん知らないし、その子供などはもっと知らないうちに発症してしまつたことが非常に恐ろしいと感じた。法律がうまく機能していればと思った。		同意する
男性	20	知らなかった			同意する
男性	21	知らなかった	私自身この事件を知らなかつたので、この事件が今も続きており、風化させてはならないという意図に感銘を受けました。行政の対応にも問題があり、被害者が少しでも救済されることを願っています。	断片的にしか見れなかつたのですが、吸い玉治療や、父親から子へのpcbの移行という話に触れられて、それが油症とのような関係にあるのかが疑問に残りました。	同意する
男性	21	知らなかった	矢口さんの「愛情を含めていたつもりが毒を呑んでいた」という言葉にややきれない気持ちを感じた。		同意する
女性	19	知らなかった	食品衛生法に則らずに、国や政府が都合の良いように認定基準を決めたことについて、非常に疑問や怒りを感じた。専門知識や社会的権力以上の者が、自己の利益のために権力を握り繋げはいけないと感じた。	食品衛生法に則らないことが不利になることの説明が欲しかった。	同意する
女性	18	知らなかった	カネミ油に混入した化学物質によって、ダイオキシン類の中濃度などの異常が出て被害が出ていたことを初めて知った。その時に実際にカネミ油を食べた人だけでなく、その人が10年以内に生んだ子供にも影響が出ることとはとても怖いと感じた。被害が二世へと引き継がれて拡大していくことは、対処や治療が難しかると感じた。		同意する
女性	19	知らなかった	今回、初めてカネミ油症というものを知った。食品での健康被害があること、公害が発生してしまうことのあることは知識としてはもちろん知つていただけたが、これまでに被害者の方の理りにないこともあり、どこか縁違いな存在だと感じていた。しかし、今回のこの映像を見て、その実態を知ることが出来たので医師として知るべき実情を知識として頂けたことが良かったと想つた。		同意する
男性	21	知らなかった	回知つて驚いた。公害によって自分自身に症状が起こるだけでも、非常に辛いと思うが、それによって地域で差別が起きたり、子供にも影響があつたつるといふ非常に辛いのではないかと感じた。結婚の問題であつたり心に深い傷を負っていると思うため、国としてもっとしっかり対応すべきだと思う。		同意する
男性	21	知らなかった	カネミ油症患者の方々は長年不安の中で暮らしているのだだと感じた。そのため、大学や政府、周囲の人々がそのことを理解したうえで接する必要があるのだと感じた。その方々にとっての最善を意識したうえで対応をとっていく必要があるのだと思った。		同意する
男性	22	知らなかった	10年以内に産まれた子は影響が大きいだろう、という先生の言葉が忘れられない、というのが印象的だった。 九女の班が産まれたところで初めて母乳もしさを感じたが、そぞもなく、被害者と認められない被害者を生み出してしまつてゐたのだとわかつた。		同意する
男性	19	知らなかった	カネミ油症がかつて大きく日本を揺るがし、広く被害を出したこと、そして次の世代にも影響がわたり、偏見などの食中毒とは違う被害を受けていることや、今なお苦しんでいる方々がいることを知つた。真っ当な評価をされて欲しいと思う。		同意する
女性	20	知らなかった	油症が起きた當時に食品衛生法で対応されなかつたということが、こんなにも多くの人に影響を及ぼしているのだととうことが知つた。さらに、その影響が二世、三世へと続いていることも知つた。つらい過去を思い出したくもないだろうが、カミングアドをせざるを得ない当時の人の心中を思うと、胸が痛む。お母さんの母子の墓前に報告したいといふ言葉を聞いて、国はきちんと責任を果たすべきだと思うし、それをしていない国に対して憤りを感じる。今後、油症の認知度が向上し、差別なしに適切な保障が受けられるようになることを願つていて。		同意する
女性	18	知っていた	カネミ油を食べたことによる偏見や差別があり、それによって人生が狂わされた人も多くいるのだろう。「愛を持って作つたと思った料理が、本当は毒であったら」と言つてゐる人がいたが、そのようなことを経験したら、どうつもない罪悪感を感じるだろうと思った。誰にでも起こりうることなので、これが食中毒と認定されないのは許せないことだ。		同意する
男性	21	知らなかった	行政の人たちがカネミ油の毒の重大性を理解していないと感じ、被害者の人の声をもっと聴くべきだと思った。	カネミ油症のような被害が今後出ないようになるためにほどのようなことに気をつけるべきか教えて欲しいです。	同意する